



AZ-COMレポート

第43期 中間報告書

2015年4月1日～2015年9月30日

桃太郎文化 (企業文化)

**お客様に対する懸命なる努力は
自らの成長と仲間の幸福につながる**

私たちが創業以来40年以上にわたり創造・共有してきた企業文化、それが“桃太郎文化”です。この“桃太郎文化”は、現在では組織の奥深くまで浸透した揺るぎない企業文化に成長し、組織が共有する価値観や信条、伝統、そして経営理念に至るまで、あらゆる企業活動の基盤になっています。私たちの全ての行動規範は、この“桃太郎文化”から始まります。

株式会社丸和運輸機関

証券コード：9090

当第2四半期決算のポイント

Point 1

インバウンド効果も
追い風要因となり、
当初計画を上回る
売上高を達成。

Point 2

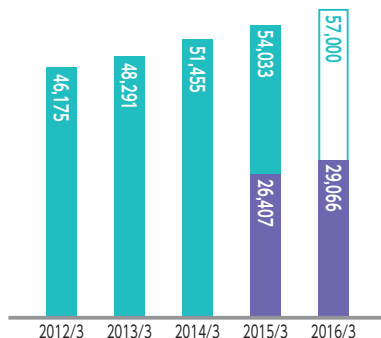
経費削減策の奏功等もあり、
当初計画を上回る大幅増益。
最終損益では三桁の伸長。

Point 3

利益剰余金の
順調な上積みにより、
自己資本比率は4.4ポイントupの
44.9%に。

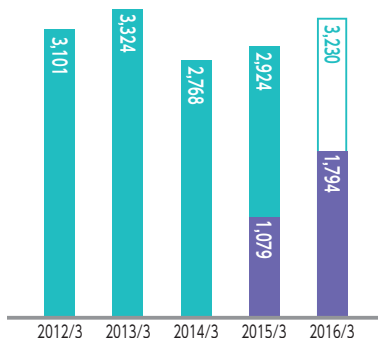
売上高

(単位: 百万円)



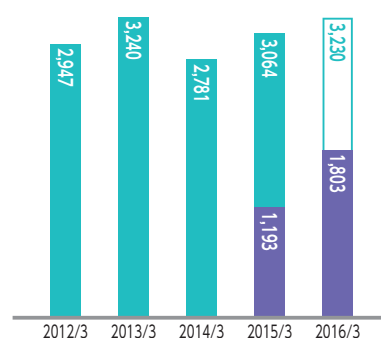
営業利益

(単位: 百万円)



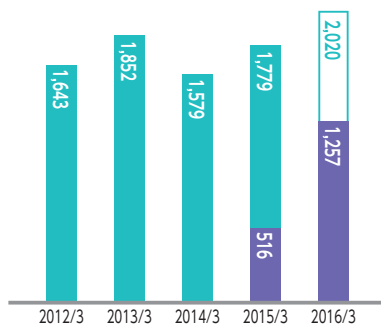
経常利益

(単位: 百万円)



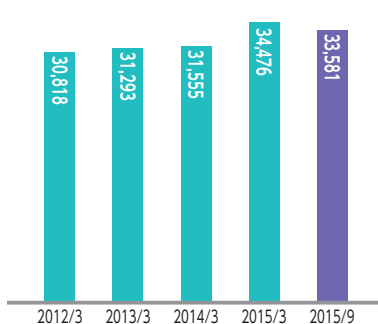
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

(単位: 百万円)



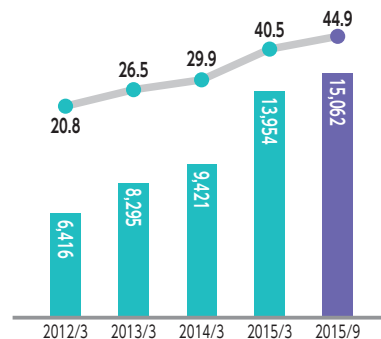
総資産

(単位: 百万円)



純資産/自己資本比率

(単位: 百万円・%)



※2015年3月期より四半期連結財務諸表を作成しています。

トップ・インタビュー

食品スーパーマーケット領域の開拓をさらに進め、 日本の食におけるNo. 1物流企業を目指してまいります。

ご挨拶

平素より当社事業へのご支援とご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社第43期第2四半期累計期間(2015年4月1日～2015年9月30日)の経営成績がまとまりましたので、その概況等についてご報告申し上げます。

昨今、物流業界においては車輛・人手不足を背景とした物流コストの上昇等が懸念される状況にありましたが、新規物流センターの稼働や既存事業の業務改善等の奏功により、増収および大幅増益という業績結果を株主の皆様にご報告できることとなりました。

また今後に眼を転ずれば、低温食品物流事業の新規顧客開拓で成長エンジンを加速化させ、将来的にはアジア地域の皆様に安心・安全な食品をお届けできるよう、前進してまいります。どうぞこれからの丸和グループにご期待ください。

2015年12月

代表取締役社長 和佐見 勝



Q1 当第2四半期の決算のポイント等について教えてください。

インバウンド効果も追い風要因となり、増収および大幅増益を達成しました。

当第2四半期の主な連結業績は売上高290億66百万円(前年同期比10.1%増)、営業利益17億94百万円(同66.3%増)、経常利益18億3百万円(同51.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益12億57百万円(同143.5%増)となりました。

当第2四半期の状況を総じて捉えた時、大きく2つのポイントを挙げることができます。1つが、顧客の維持・深耕の奏功です。当第2四半期では、一例ですが既存の大手外食企業様の関西圏全域における物流担当という大型受注や、そこに新規顧客の開拓も加わり、順調に売上ボリュームの拡大を図ることができました。もう1つが、インバウンド効果です。訪日外国人観光客によるインバウンド消費を背景に、東京・大阪・福岡といった観光スポットを中心とした物量の増加も売上増、利益増に繋がる結果となりました。

なお物流センターの状況といたしましては、当連結会計年度に山形食品物流センター、所沢食品物流センター、仙台食品物流センターの3拠点が新たに稼働を開始しました。この結果、9月末時点における事業所総数は計103拠点となっております。

トップ・インタビュー

Q₂ 重点領域である食品スーパーマーケット(SM)の開拓についてはいかがですか？

開拓をさらに推し進め、日本の食におけるNo.1物流企業を目指してまいります。

当第2四半期における業種別売上高構成で見ると、低温食品／食品SMの割合は約36%(前期末比3ポイント増)となり、堅調に同領域を伸ばすことができました。

超高齢化社会の到来が叫ばれる昨今の日本では、言わば生産国から消費国への変貌に伴い、国内のメーカー物流の縮減が進みつつあるのが実情です。このような国内情勢の下、当社が重要視しているのが、「食品物流という絶対的物量の確保」です。例えば人口減がさらに進もうとも、食品物流の絶対量は必ず残ります。当社としては、食品SMへ向けた7つのサービスメニュー「7PL(セブン・パフォーマンス・ロジスティクス／7つの経営支援機能を付加した3PL)」などの強みをさらに発揮し、生鮮品などを中心とした食品SMにおける低温食品物流の強化と拡大を図っていく方針です。そして中長期の展望としては、全国の優良なSM開拓へ向けて食品物流センター50拠点の確立とともに、全体の売上高の拡大を図りながら低温食品／食品SMの売上比率を50%まで高め、日本の食におけるNo. 1

物流企業を目指してまいります。



接客マナー研修の様子(サービスセールスマン)

Q₃ 成長戦略の柱であるネットスーパー事業も順調に展開されていますね。

“お届け”レベルでの接客サービスの実践が、お客様からの厚い信頼に繋がっています。

先にご説明した食品物流の強化と拡大の中で重要な戦略の柱となってくるのが、鋭意展開中のネットスーパー事業です。もし、同様にネットスーパー事業を展開している他社との違いや丸和の強みは何か?と問われたら、私は自信をもって「“配達”ではなく“お届け”レベルで接客サービスをすることができる、そのようなドライバー教育を徹底している」と答えることができます。

ネットスーパーは、当日のご注文は、受付締切から最速4時間後にお届けが可能です。そしてお客様先では、ドライバー(当社ではサービスセールスマンといいます)が“商品知識を持ったプロ”として、お店の販売スタッフと同じレベルでお客様とコミュニケーションを取っております。

玄関ビジネスとしての些細な取り組みではありますが、これが出来るか出来ないかが大きな差異となり、顧客単価やリピート率のアップに繋がってまいります。11月時点でネットスーパーや来店宅配等の当日宅配対応店舗数は292店舗(前期末比25店舗増)にまで拡大してきました。また、大手ネット通販会社様との新たな大型取引も今秋より始まりました。今後へ向けてはこのビジネスモデルを進化させ、オムニチャネルへの対応や、さらに「最上なるおもてなしをサービスとする“お届けビジネス”(BtoCビジネス)」へと、ハイステージへの展開を図ってまいります。

Q4 今後の持続的成長へ向けて、そのほかポイントとなる点とは？

優良な人財の確保と教育を磨き高め、物流品質の向上を図ってまいります。

当社がこれからもお客様から評価され且つ持続的成長を果たしていくためには、これまでご説明してきたような時中(じちゅう)を見極めた戦略の策定、物流センターの整備に代表される物的資源の強化は勿論のこと、その中で活躍してくれる人的資源の教育と確保が不可欠であります。また当社では「人の成長なくして企業の成長なし」と捉え、丸和ロジスティクス大学の開講など独自の“人財”教育システムを確立し、技術ノウハウだけではなく社員の人間的な成長にも注力しております。

なお今後の計画としては、東京オリンピック・パラリンピックまでに1,200名以上(毎年:200名以上)の新卒社員採用を予定しております。また加えて、「AZ-COM丸和・支援ネットワーク」(11月時点会員数:215社)の活用による人手／車輛不足の解消も相乗的に図り、日本最大規模の物流ネットワークの構築と、物流品質(高品質／ローコスト／高サービス)の一層の向上に努めてまいります。

Q5 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

安定配当と機動的な株主価値の向上に努めております。

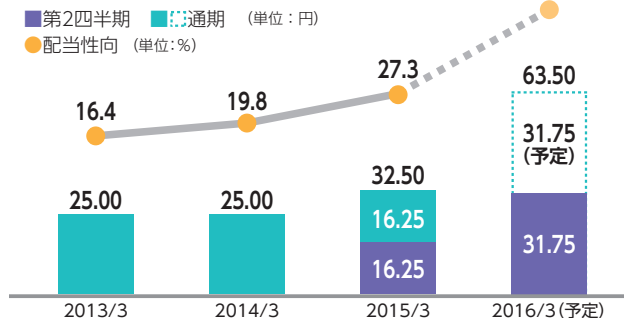
株主の皆様には日頃より格別のご支援を賜り、まずは私が持て得る限りの最大級の感謝の気持ちをここに表したいと思えます。当社では配当という形での還元、30%を



1つの基準とした業界トップレベルの配当性向を株主還元の基本方針としております。また昨年10月と本年10月に株式分割を実施し、より投資しやすい環境を整えることができたものと考えております。

これからも株主の皆様のご期待に応え、株主の皆様には「丸和運輸機関の株主になってよかった、長期保有してよかった」と思ってもらえるよう、経営に邁進してまいりたいと考えております。今後とも丸和グループを何卒よろしくお願い申し上げます。

配当実績と予定



当社は、2014年10月1日付また2015年10月1日付でそれぞれ株式1株につき2株の株式分割を行っております。当該株式分割に伴う影響を加味し上記グラフでは、遡及修正を行った場合の1株当たりの指標の推移と2016年3月期予想を記載しております。

今回のテーマは **AZ-COM 7PL** アズコム セブン・パフォーマンス・ ロジスティクス

7つのサービスメニューで 食品スーパーマーケットの経営(利益)支援に貢献

「AZ-COM7PL」とは、食品スーパーマーケット(食品SM)に向けて開発した7つのサービスメニューです。

食品SMの経営課題に対し、ロジスティクス面からの経営支援機能を提案しています。

これにより食品SMは本業である販売・店舗オペレーションに集中できるようになります。

このうち当社がもっとも力を入れているのが、

ラストワンマイルと呼ばれる物流、

つまり、商品を店舗や物流センターから

消費者のご自宅にお届けするサービスです。

●ラストワンマイル戦略

ネットスーパー、来店宅配などの
「当日お届けサービス」



当日宅配サービスによる顧客
満足度向上と売上増大支援

無資産、無投資による
ロジスティクスセンターの構築

1
コアビジネス
への集中

2
新物流システム
で利益の拡大
(プロフィットセンター化)

仕入価格の見直し交渉による
新たな利益の拡大と商流利益
の創出

3
商流利益
の創新
(バリューチェーン確立)

サプライチェーン
における企業間
連携や垂直統合に
よるSCMを推進

AZ-COM 7PL
SEVEN PERFORMANCES LOGISTICS

丸和スタンダードの
「AZ-COM7PL」は、
「商流利益」と「物流利益」を
生み出します

4
顧客(消費者)
満足度向上
(新販売チャネル構築)

5
集客力の向上
(生鮮品の調達)

生鮮・調達物流改革による
食品SMの販売力強化

6
人手不足に
対応

プロセスセンター開発による
食品SMの戦略的メリット追求

7
コスト削減
(業務改善)

食品SMの店舗オペレーション
改革による販売管理費の削減

食品物流センターの新規稼働

■ アズコム仙台食品物流センター 2015年9月より

コープ東北サンネット事業
連合様の東北6県における
物流の質と効率性の向上
を実現する統合センター。
約168万人の組合員様と
「コープ東北」108店舗に
向けたドライ商品(食料品
や日用品等)を供給する。
最新鋭の物流機器や自動
倉庫機能を兼ね備え、新た
な技術でインターネット
社会へ対応。



■ 所沢食品物流センター 2015年8月より

三越伊勢丹フードサー
ビス様が展開する「クイ
ーンズ伊勢丹」専用セン
ター。東京都内を中心と
した約30カ所へ食料品を
中心とした低温／ドライ
商品を供給する。



担当者紹介



アズコム仙台食品物流センター

駒澤 亮

2013年入社。24歳

私は現在入社3年目で、生活協同組合様の東北6県を担当する統合センターで業務に携わっております。現場では主に情報システム担当として、危機管理・メンテナンス、顧客対応、データ処理などを行っており、組織内の情報管理や現場オペレーションの円滑な運営をサポートしております。今後も当社の経営理念である「お客様第一義」の実践を通じて生活協同組合様の事業、組合員様のくらしに貢献し、100人の桃太郎(経営者)になることを目標に日々の業務に邁進してまいります。

トピックス

第42回定時株主総会を
開催いたしました

6月26日、本社6階講堂にて第42回定時株主総会を開催いたしました。株式公開後の株主様をはじめとお迎える総会ということもあり、総勢70名以上に及ぶ若手社員が「日本一の明るい挨拶と笑顔で株主様に感動と満足を」というテーマのもと、「最上のおもてなし」を目指して準備・運営を行いました。当日は多数の株主様にご出席を賜り、誠にありがとうございました。

文書保管センターの新棟稼働
(株)アズコムデータセキュリティ

8月5日より、秩父みどりが丘工業団地にて新たな文書保管センターが稼働いたしました。同センターは、文書保存箱が約10万ケース収納でき、オフィス文書をはじめ、マイクロフィルム、絵画などの機密性や希少性の高い保管物を預かる堅牢性の高いセキュリティセンターです。



ニューイヤーコンサートに協賛しています

埼玉県松伏町の田園ホール・エローラで開催される「ウィーン・リング・アンサンブルによるニューイヤーコンサート」に2007年より協賛(スポンサー)企業として支援しております。このアンサンブルは、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の主要メンバーで結成され、数多くのテレビ放映やCD等で日本でもおなじみの存在です。当社はこのようなイベントや活動への支援を通じて、地域と企業の共存共栄を願って今後も取り組んでまいります。



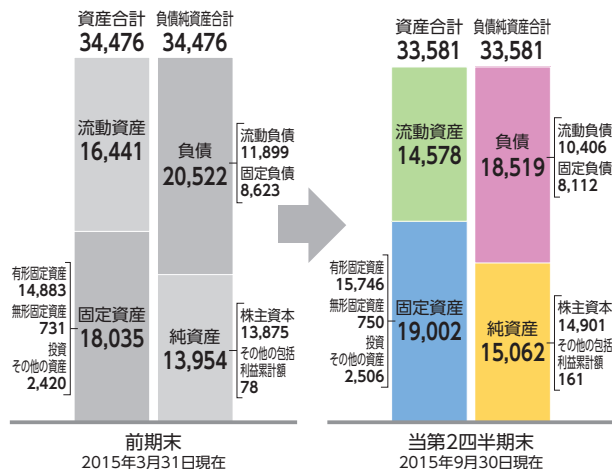
©大杉隼平



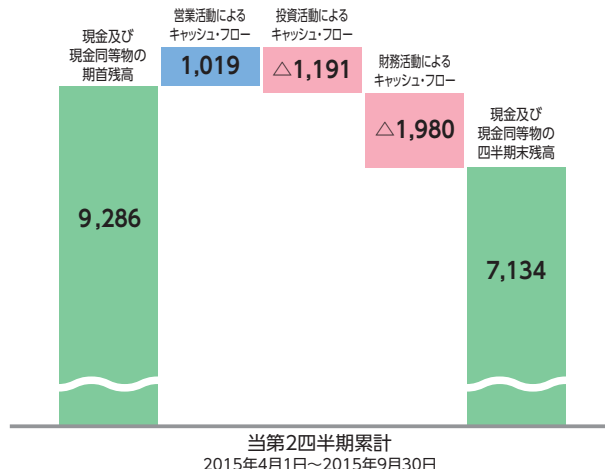
連結財務諸表 (単位:百万円)

Consolidated Financial Statements

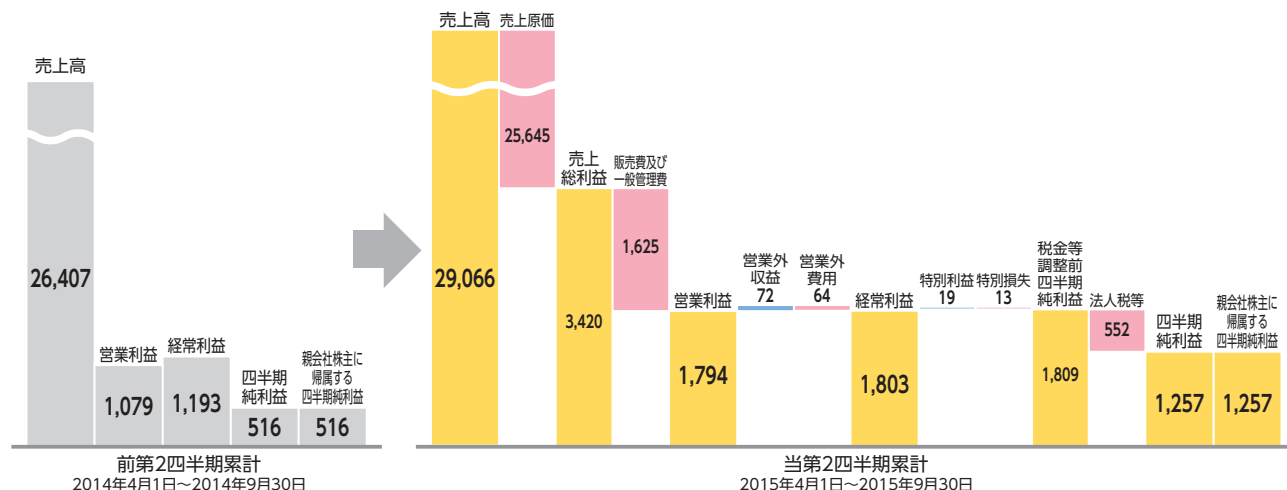
財政状態の概要



キャッシュ・フローの概要



損益の概要



詳細な財務情報は

丸和運輸機関 IR情報

検索

企業スポーツ

スポーツ活動の支援を通じて若手社員を育成

ラグビー部

部員は
入社1～3年目までの
新入社員で構成。
2016年の新入社員も
多数のラグーマンが
入社予定です!!

2013年 チーム発足

2014年 関東社会人ラグビーフットボールリーグ加入(3部リーグ)
Bブロック全勝優勝
リーグ入替戦にも勝利し、次年度の2部昇格を決める

2015年 関東社会人ラグビーフットボールリーグ(2部リーグ)
公式戦(9～12月)

陸上部

ハンマー投げ

倉田直人

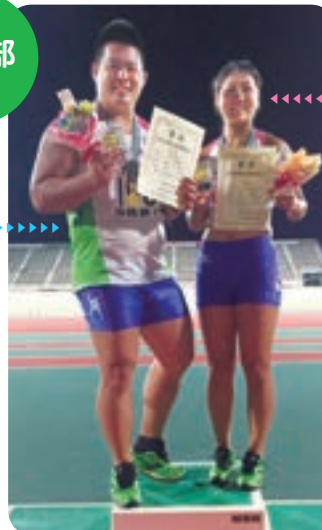
(Naoto Kurata)

2015年新入社員として入社

●最近の主な戦績

2015年 九州陸上選手権大会
8月 **優勝**

2015年 全日本実業団対抗
9月 陸上競技選手権大会
4位入賞



ハンマー投げ

渡邊茜

(Akane Watanabe)

2014年新入社員として入社
オリンピック強化指定選手

●最近の主な戦績

2015年 アジア陸上選手権大会
6月 **3位(銅メダル)**

2015年 日本陸上競技
7月 選手権大会
2位

2015年 九州陸上選手権大会
8月 **優勝**

2015年 全日本実業団対抗
9月 陸上競技選手権大会
優勝

2015年 2015年の国
10月 わかやま国体
2位

会社概要 (2015年9月30日現在)

Corporate Data

社 名 株式会社丸和運輸機関

本社所在地 〒342-0008 埼玉県吉川市旭7番地1

本社営業所 〒342-8505 埼玉県吉川市あさひ桃太郎1-1-1
TEL: 048-991-1000 FAX: 048-991-1001

設 立 1973(昭和48)年8月

資本金 2,647百万円

事業内容 サードパーティ・ロジスティクス(3PL)事業 等

従業員数 連結 6,000名
(内/パート 3,534名/年間平均雇用人数)

事業所 全国103拠点(全グループ含む)

埼玉、東京、神奈川、千葉、茨城、群馬、栃木、北海道、
岩手、宮城、愛知、大阪、京都、福井、兵庫、滋賀、
岡山、広島、高知、福岡 他

役 員

代表取締役社長 和佐見 勝 常勤監査役 藤原 俊彦

取締役 山本 輝明 常勤監査役 田中 茂

取締役 平本 研二 監査役 岩崎 明

取締役 藤田 勉

取締役 河田 和美

取締役 小倉 友紀

取締役 橋本 英雄

取締役 田中 博

取締役 早川 浩平

取締役 廣瀬 権

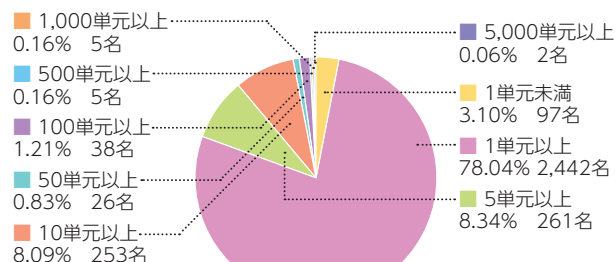
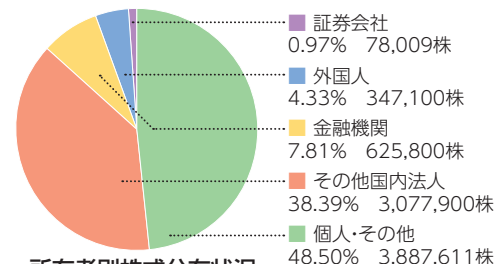
株式の状況 (2015年9月30日現在)

発行可能株式総数	12,000,000株
発行済株式総数	8,016,420株
株主数	3,129名

大株主の状況

株主名	所有持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社WASAMI	2,700	33.68
和佐見 勝	2,096	26.15
日本トラスト・サービス信託銀行株式会社(信託口)	354	4.42
丸和運輸機関社員持株会	275	3.44
株式会社マツモトキヨシホールディングス	100	1.25
株式会社ダスキン	100	1.25
トーヨーカネツソリューションズ株式会社	100	1.25
立澤 勝美	75	0.94
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	74	0.93
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	59	0.75

株式分布の状況



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
株主確定基準日	毎年3月31日
剰余金の配当基準日	期末配当の基準日 毎年3月31日 中間配当の基準日 毎年9月30日 上記のほか、基準日を定めて剰余金の配当をすることができます。
1単元の株式数	100株
株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社 (http://www.mizuho-tb.co.jp) 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
事務取扱場所	みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部 東京都中央区八重洲一丁目2番1号

郵便物送付先	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 (http://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html) 〒168-8507 東京都杉並区泉和二丁目8番4号
電話照会先	0120-288-324(フリーダイヤル)
公告掲載方法	当社の公告方法は、電子公告としております。 ただし事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載しております。当社の公告掲載URLは次のとおりです。 http://www.momotaro.co.jp/
各種お手続きのお取り扱いについて	1.株主様の住所変更その他各種お手続きにつきましては、原則としてお取引をされている証券会社等での取り扱いとなります。 2.特別口座の株式に関するお手続きにつきましては、みずほ信託銀行でのお取り扱いとなります。

当社ホームページのご案内

当社ホームページでは、ニュースリリースをはじめ、詳しい事業案内やIR情報など充実した情報を適時、掲載しています。

<http://www.momotaro.co.jp/>



IRスケジュール

2015年		2016年					
11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
● 第2四半期 決算発表	● AZ-COMレポート (中間報告書)発行		● 第3四半期 決算発表			● 決算発表	● 定時株主総会 AZ-COMレポート (報告書)発行

※都合により予告なく変更する場合がございます。ご了承ください。



株式会社 丸和運輸機関

〒342-0008 埼玉県吉川市旭7番地1
TEL: 048-991-1000

